

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

令和5年4月に全国学力・学習状況調査が実施されました。市内の小
学校第6学年及び中学校第3学年の児童生徒がこの調査を実施しました
ので、この結果を公表いたします。

白井市教育委員会

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 白井市における調査の実施状況

(1) 調査期日

令和5年4月18日(火)

(2) 調査対象

小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒

(3) 調査内容

小学校第6学年

国語

算数

質問紙調査(学習意欲・学習環境・生活面等に関する調査)

中学校第3学年

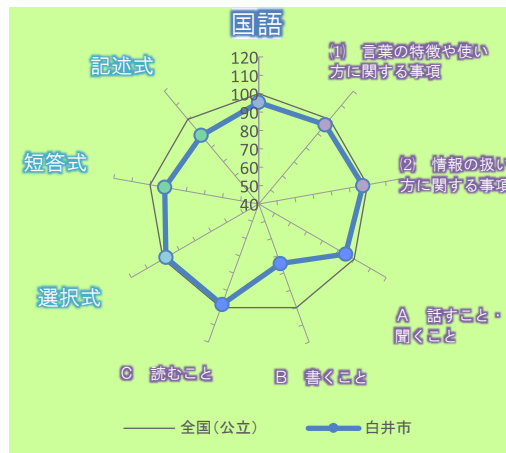
国語

数学

英語

質問紙調査(学習意欲・学習環境・生活面等に関する調査)

<小学校国語>



国語

全体の正答率は、全国平均と比べて下回っている。領域別にみると、「情報の扱い方に関する事項」においては、比較的高い正答率を示している。

言葉の特徴や使い 方に関する事項

◇学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。
◇送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができる。

話すこと 聞くこと

◇必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができる。
◆目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題がある。

書くこと

◆図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。

読むこと

◇目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。
◆文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題がある。

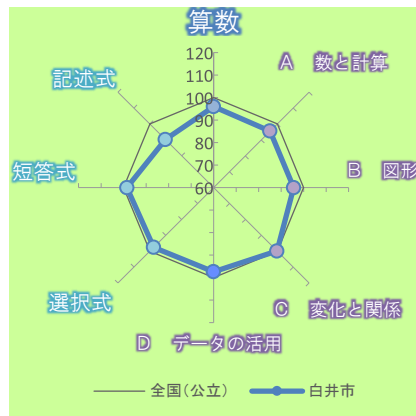


授業改善のポイント

◇→概ね身につけている。
◆→課題がある。

- 伝えたいことを明確にし、分かりやすく伝えるためには、どのような図表やグラフなどを用いるとよいか考える場面を設定する。
- 読む目的を意識して、内容の中心となる語や文を選び、必要な情報を見つけて要約する活動を設定する。
- 複数の本や資料を読んで分かったことを整理したり、分かったことの中から既存の知識や体験などに結び付くものを考えたりしながら自分の考えをまとめるように指導する。

<小学校算数>



算数

全体の正答率は、全国の正答率を下回っている。領域別にみると、「変化と関係」の分野で比較的高い数値を示している。

数と計算	<p>◇「以上」の意味を理解し、示された数から必要な数を読み取ることができる。</p> <p>◆(2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることに課題がある。</p>
図形	<p>◇正方形の意味や性質について理解している。</p> <p>◆高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。</p>
変化と関係	<p>◇伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができる。</p> <p>◇伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができる。</p>
データの活用	<p>◇「以上」の意味を理解し、示された数から必要な数を読み取ることができる。</p> <p>◆示された棒グラフと、複数の棒グラフが組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述することに課題がある。</p>

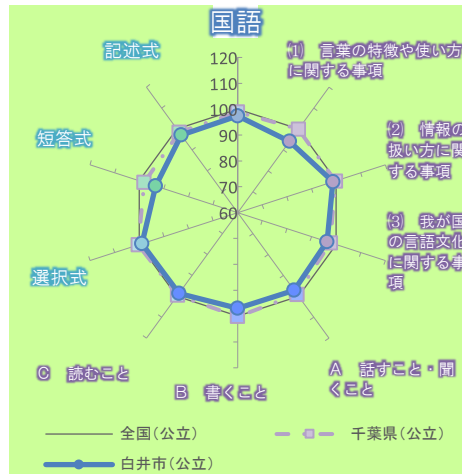


授業改善のポイント

- ◇→概ね身につけている。
- ◆→課題がある。

- 筆算を具体物や図と関連付けて考察したり、具体物の操作や、図で考えた結果を式に表したりすることで、筆算を式と関連付けて考察することができるように指導する。
- 三角形の面積を求めるために必要な底辺と高さの關係に着目し、三角形の底辺や高さと面積の關係を基に面積の大小を判断することができるように指導する。
- 目的に応じて分類整理された複数のグラフを比べ、見いだしたことを、他者に分かりやすく表現することができるように指導する。

< 中学校国語 >



国語

全体の正答率は、全国の正答率を下回っている。領域別では、「情報の扱い方に関する事項」における平均正答率が比較的高い割合を示している。

言葉の特徴や使い方に関する事項

- ◇事象や行為、心情を表す語句について理解している。
- ◆文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある。

話すこと・聞くこと

- ◇目的や場面に応じて質問する内容を検討することができる。
- ◇聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができる。

書くこと

- ◇自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができる。
- ◆読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることに課題がある。

読むこと

- ◇文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。
- ◆文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることに課題がある。

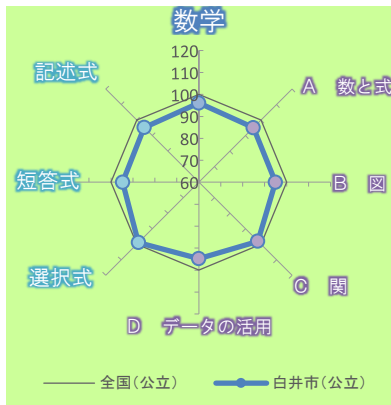


授業改善のポイント

- ◇→概ね身につけている。
- ◆→課題がある。

- 漢字の指導においては、字体、字形、音訓、意味や用法などの知識を習得し、文脈に即して漢字を読んだり書いたりすることができるように指導する。
- 書いた文章を推敲する際には、伝えようとするものが伝わるように、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるように指導する。
- 生徒が古典との距離を縮め、古典の世界に親しむためには、古典の現代語訳や古典について解説した文章などを教材として適切に取り上げ、生徒自身が古典の楽しみ方を見いだすことができるよう指導する。

< 中学校数学 >



数学

正答率は、全国の正答率を下回っている。領域別にみると、数と式の問題において、高い正答率を示している。

数と式

◇問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。
◆結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することに課題がある。

図形

◆空間における平面が同一直線上にない三点で決定されることを理解することに課題がある。
◆条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明に振り返って読み取ることに課題がある。

関数

◇反比例の意味を理解している。
◇事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができる。
◆与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることに課題がある。

データの活用

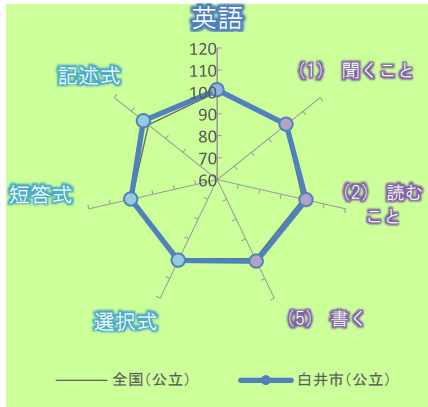
◇複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。
◆累積度数の意味を理解することに課題がある。
◆四分位範囲の意味を理解することに課題がある。

授業改善のポイント

◇→概ね身につけている。
◆→課題がある。

- 予想した事柄が成り立つかどうかを、具体的な数や文字式を用いて調べる活動を通して、結論が成り立つための前提を捉え、見いだした事柄を数学的に表現できるように指導する。
- 空間における平面が一つに決まるときの条件について、観察や操作などの活動を通して、実感を伴いながら理解できるように指導する。
- データの分布の傾向を捉える活動を通して、累積度数の必要性和意味について理解できるように指導する。
- 複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取る活動を通して、四分位範囲の必要性和意味を理解できるように指導する。

< 中学校英語 >



英語

正答率は、全国の正答率を上回っている。問題の領域としては、読むことの問題において全国の正答率を上回る割合を示している。

聞くこと

- ◇情報を正確に聞き取ることができる。
- ◇日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。
- ◇日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができる。

読むこと

- ◇文と文との関係を正確に読み取ることができる。
- ◇「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができる。
- ◇情報を正確に読み取ることができる。

話すこと [やりとり]

- ◇日常的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を述べあうことができる。
- ◇日付に関する基本的な表現を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けている。

話すこと [発表]

- ◆社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことに課題がある。

書くこと

- ◇「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができる。
- ◆日常的な話題について、事実や自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書くことに課題がある。

授業改善のポイント

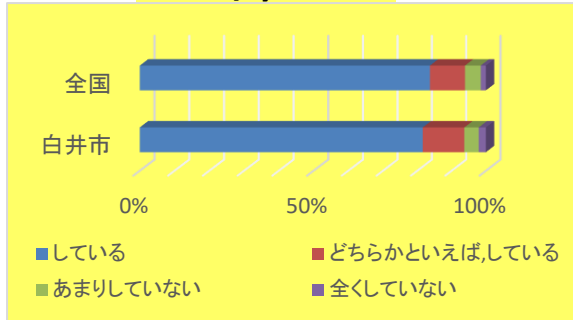
- ◇→概ね身に付いている。
- ◆→課題がある。

- 意見文を読んで、要点捉えるためには、文章全体を通して読み、複数の情報の中から書き手が伝えたいことは何かを判断して捉えることができるよう指導する。
- テーマについてまとまりのある文章を書くためには、テーマについて事実や考えを整理し、どのように書けばよりよく読み手に伝わるのかを考えながら書くよう指導する。

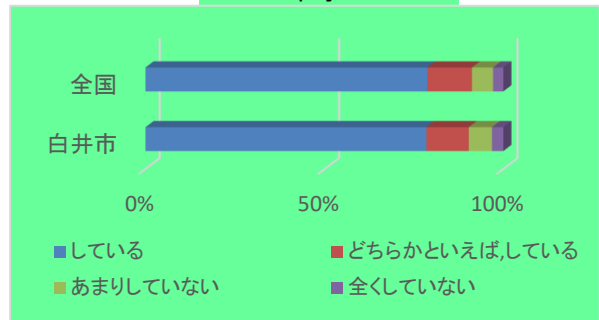
1 生活習慣について

朝食を毎日食べていますか。

小学生

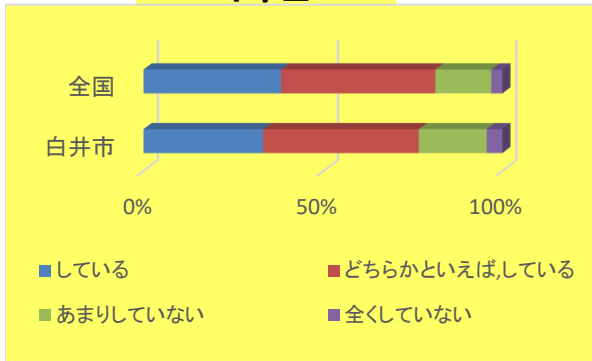


中学生

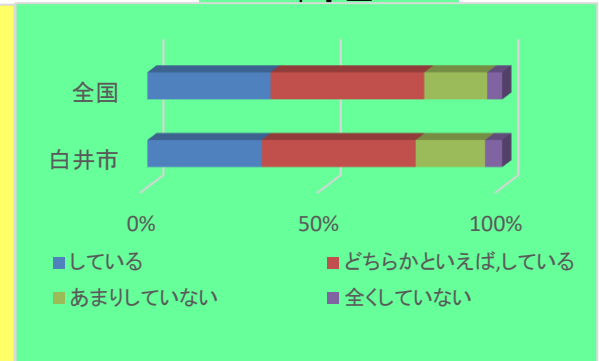


毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

小学生



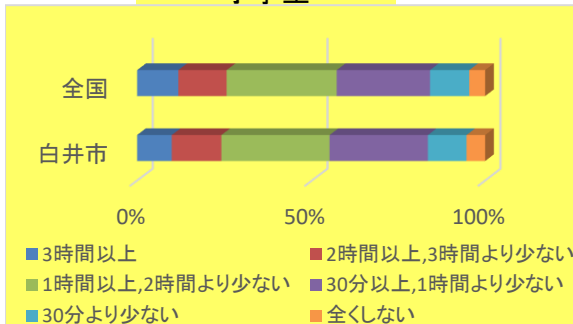
中学生



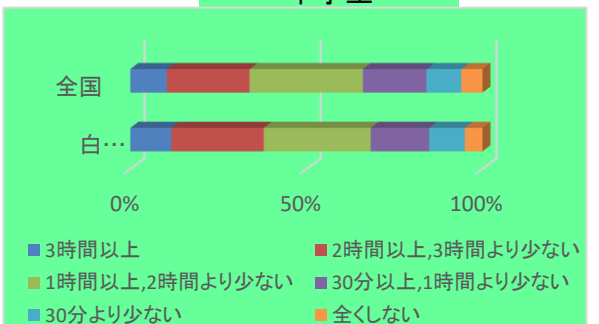
2 家庭学習について

学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾や家庭教師に教わっている時間を含む)

小学生

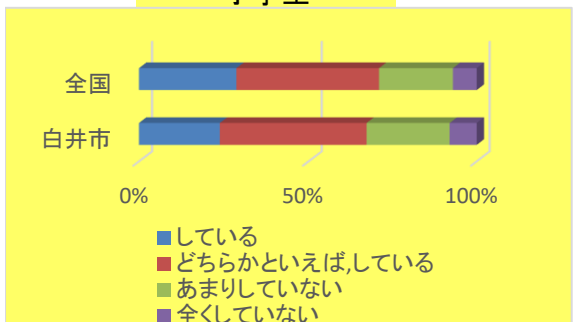


中学生

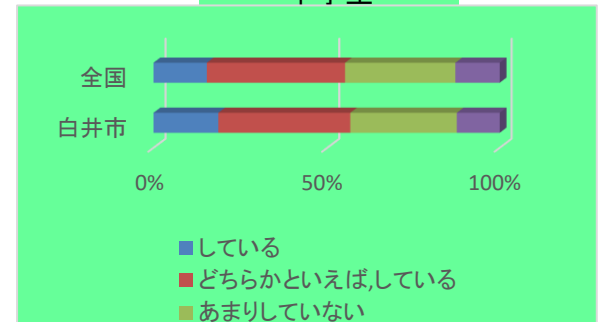


家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(学校の授業の予習や復習を含む)

小学生



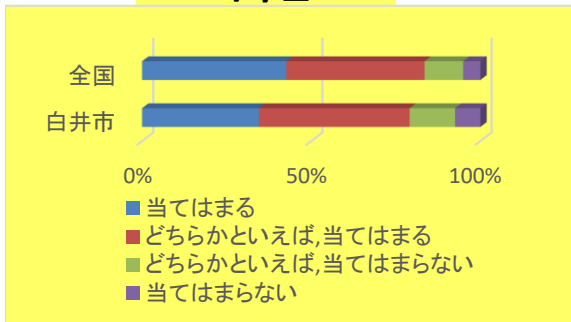
中学生



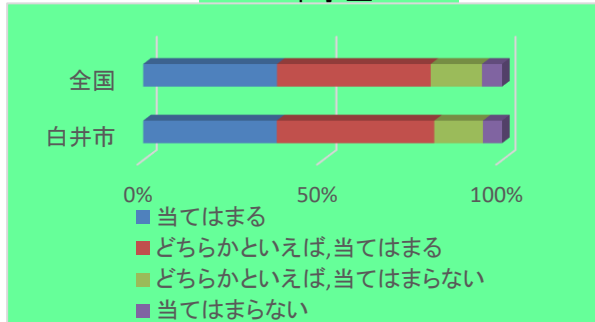
3 意欲・自己肯定感について

自分には、よいところがあると思いますか。

小学生

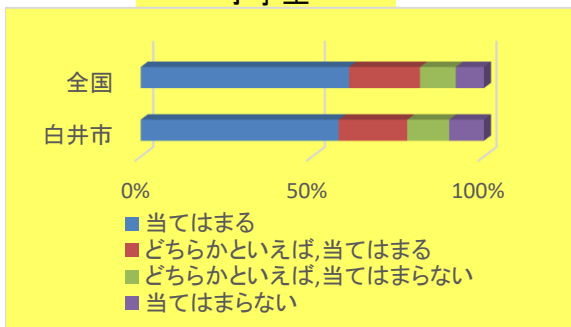


中学生

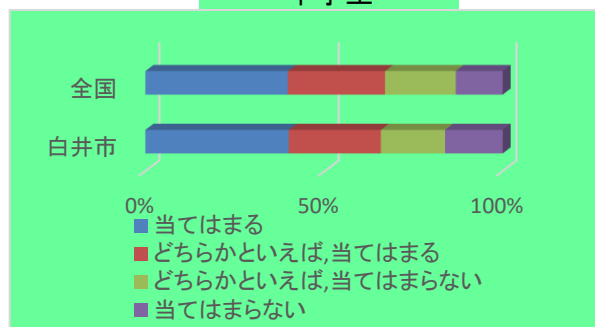


将来の夢や目標を持っていますか。

小学生



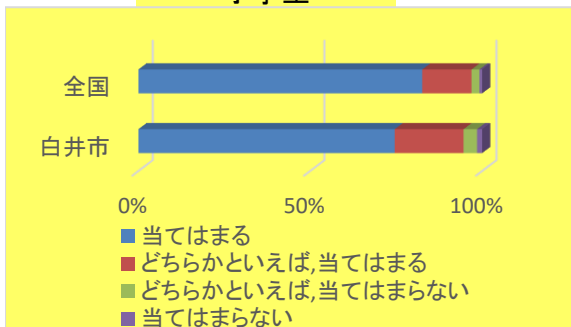
中学生



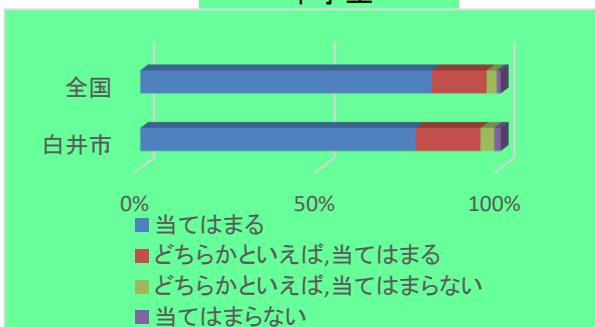
4 人間関係について

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

小学生

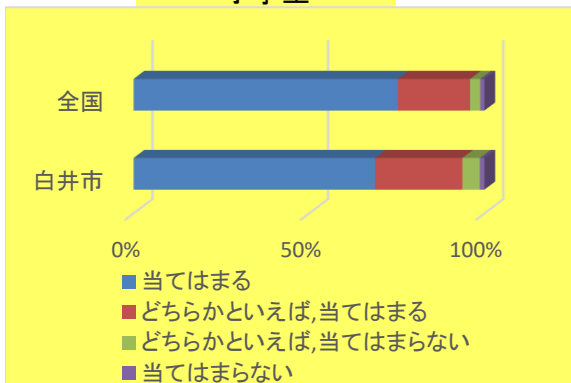


中学生

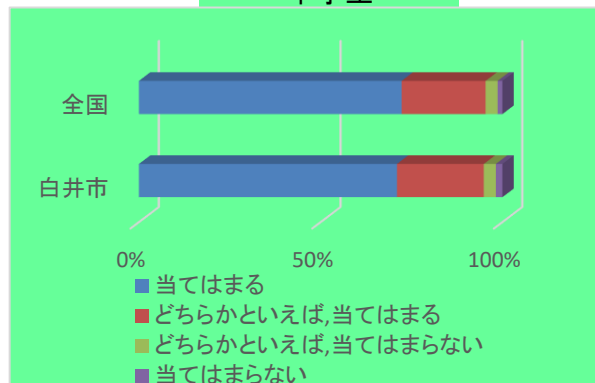


人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

小学生



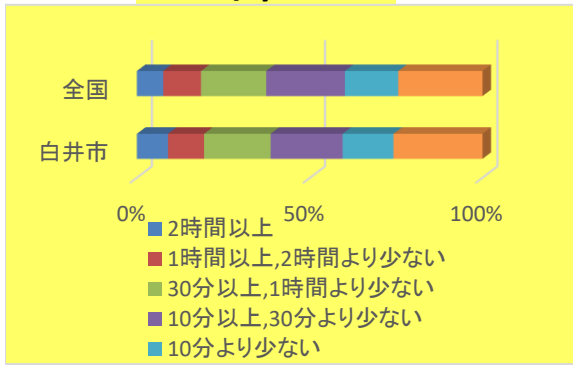
中学生



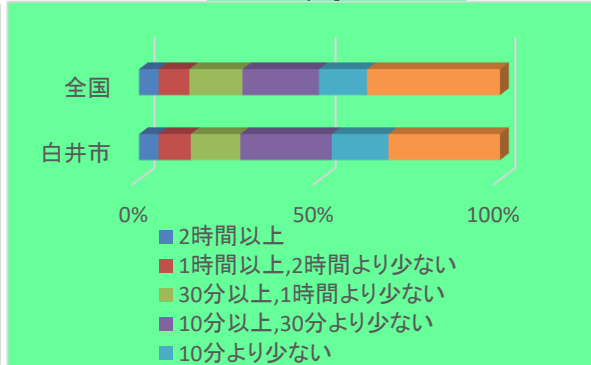
5 読書について

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどのくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)

小学生

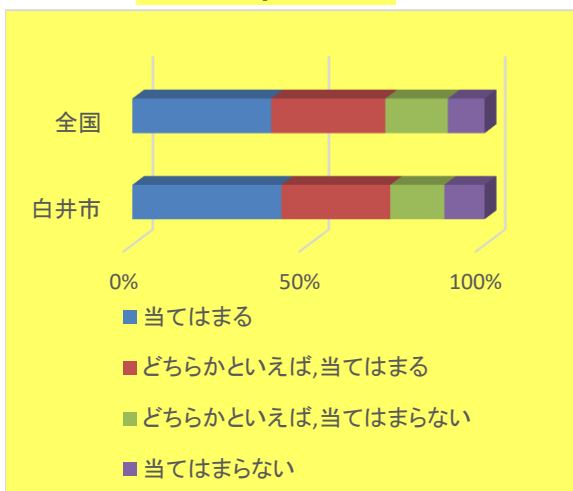


中学生

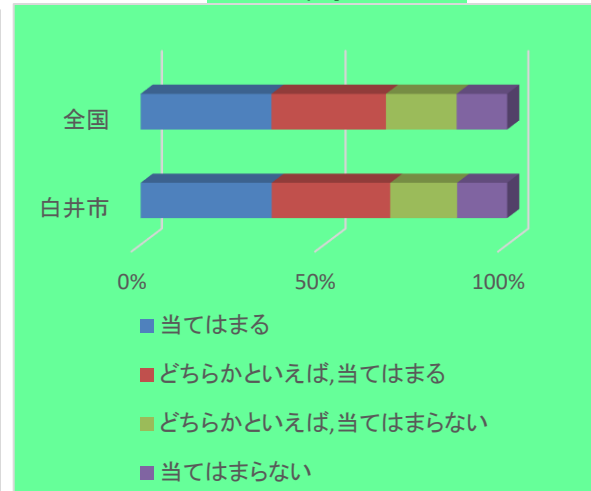


読書は好きですか

小学生



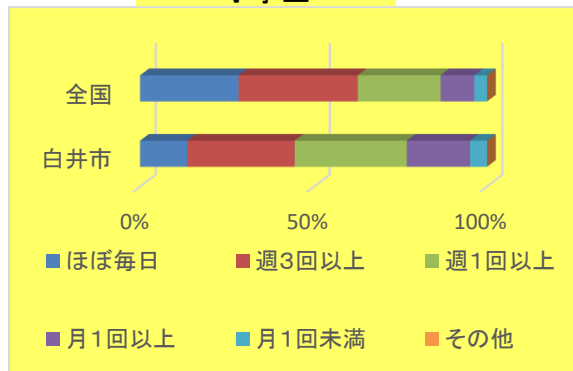
中学生



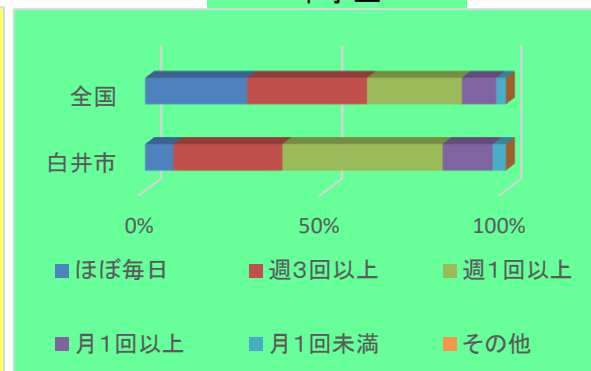
6 ICTについて

昨年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

小学生



中学生



【白井の子どもたちの様子】

○朝食は、児童で81%、生徒は78%が毎日とっている。一方、就寝時刻については、決まった時刻に寝ている児童は、33%、生徒が32%であった。朝食をしっかりとることや就寝時刻が安定していることは、児童生徒の健康面に影響を及ぼす要素の一つである。今後も、自身の健康に意識するための健康教育や食育を家庭と連携して推進することが必要である。

○中学校では、家庭学習の時間を全国平均より多くとっていることが分かる。また、家庭で自分で計画を立てて勉強をしていると回答した生徒の割合が、全国平均より上回っている。今後も家庭と連携しながら、家庭学習の大切さを子どもたちだけでなく、保護者にも伝えていく。

○小学校においては、将来の夢や目標を持っている児童の割合が全国平均とほぼ同じ割合を示している。中学校においては、将来の夢や目標についての肯定的な回答が全国平均を上回っている。今後もキャリア教育を充実させ、明るい未来を描ける児童生徒の育成に努めたい。

○白井市の児童生徒の約78%が自分を肯定的にとらえている。日本人は自己肯定感が低いと言われている。これからも、一人一人の子どもの活躍する場を確保し、自己肯定感・自己有用感を高めていくことを大切にしたい。

○白井市では、「自ら本に手を伸ばす子どもの育成」を目指し、各学校に読書活動推進補助教員を配置している。白井市の子どもたちの「読書が好きか」という質問に対する回答は、全国平均より肯定的な割合を示している。これは、読書活動推進補助教員による、児童生徒にとって興味深い図書室のレイアウトや整備、授業での関わりが大きく関係していると考えられる。今後も各教科等と関連づけながら、読書活動をさらに推進していくことが必要である。